

国連環境計画 10 億本植林キャンペーンについて

No Forest No future NPO アジア植林友好協会 [http : www.agfn.org](http://www.agfn.org) Eメール info@agfn.org

アジア植林友好協会は国連環境計画（UNEP）の 10 億本キャンペーンに皆さんと共に参加協力してきました。UNEP からのメッセージより以下ご報告します。



◆地球のため植樹【植林】は

10 億本植林キャンペーンは、国連環境計画によって促進され、世界中の植林イニシアティブ、一般市民、コミュニティ、企業、産業、市民社会組織や政府などの参加により、**2,011 年末までに達成された本数は約 120 億本になっています。**

2012 年からは国連環境計画の傘下の財団に移行されています。

今後もこの運動はその財団のもとで継続されてゆく事になっておりますので、私どもも、ひきつづきこの活動に参加してゆきます。

今後とも地球に感謝の植林キャンペーンへのご協力を地球に共に生きる市民としてよろしくお願い致します。

■木々は私たちの生活の基盤です。

(国連環境計画アヒムシュタイナー事務局長の 10 億本植林キャンペーンに対するメッセージ)

UNEP の 10 億本植樹キャンペーンとして、木を植えるという行為は、世界中の市民、地域社会や政府などの集団・組織に大きな影響力を発揮しました。

このような単純な行動が非常に広い範囲に、強力な伝播効果が発揮されることはまれなことです。

1 つのアクションが乾燥した現場や緑豊かな熱帯地方の間で、深い谷や山の頂上に住んでいる人々など、さまざまなグループに至るような運動にまでなったこともまれなことだと思います。

私たち人類は、気候変動やオゾン層の破壊と修復まで複数の課題に直面しています。

地球の生命維持システムを維持しながら、このシステムを支える生物多様性を含めて、食料、燃料、建築材料など私達の増え続けるニーズは多様化しています。

様々な生物種は、森林、湿地やサンゴ礁などを重要な生息地としていますが、これらを人間活動が破壊していて、現在ではおそらく 1000 倍以上のスピードで絶滅していると推定されています。河川と天然水の貯水量が失われ、漁業が持続不可能な速度で利用されています。

土壌は、過度の利用により塩分を含むようになってきています。汚染された空気は、病気の原因であると同時に早死とも関連があります。人口は 2050 年に 90 億に上昇すると予想されています。

私たちは劇的に、緊急に低炭素で効果的なグリーン経済にもとづく社会の消費と生産のパターンへ改革できない場合大変で困難な危機的状況に直面すると予想されています。

生物多様性の喪失は、世界の目に見えない危機です。

10 億本植樹キャンペーンと森林の保全は生物多様性の損失を助けるための私たちの重要なツールです。

2009 年 11 月時点の中間でキャンペーンのウェブサイトは、170 カ国で 74 億本以上の植林木が登録されています。**植樹活動自身が数々のグループを結び付けるとともに、相互の信頼と世代を超えた活動になります。**

また、グループ間の健全な競争精神は、大規模な植林の活性化に貢献しています。

植林自体は純粹で単純なものですが、しかし、地球のために何かをする必要があります、大切な 1 本が育ちます。

木材資源が国家間の武力紛争の最も重要な根本原因の一つであることは決してまれではありません。

1975 年から 2008 年の間、18 カ国の 20 件の紛争は、石油、穀物、木材、宝石や鉱物が絡んでいます。

木々の計り知れない価値は彼らの強さと弱さの両方があります。
森林を失うことは、明らかに食糧、エネルギーと気候の安全保障を損ないます。

生態系と生物多様性の(TEEB)最新の研究の経済学によれば、淡水の供給、生物多様性などの生態系サービスを救うことができ、土壌の浸食や洪水を防止する価値は年間5兆米ドル前後に達するといわれています。

樹木がサポートできる生命の多様性は、わたしたちの想像力をこえています。

熱帯雨林内の単一の樹木には、昆虫、鳥類、両生類、爬虫類、哺乳類、菌類、コケや植物の2,000の異なる種を育んでいます。

一方、熱帯林の消失は、世界全体の輸送部門に相当するCO2を排出して、気候変動を招いています。

10億本植樹キャンペーンは、実用的であり、感動的な動きの両方を満たしています。

今年はアフリカ、熱帯、ラテンアメリカ及び小島嶼開発途上国の荒廃地での植林に集中することを奨励しています。

有名な生物学者や自然保護論者として知られるエドワードO.ウィルソンは、
“自然は私たちの、美的知的、認知、さらには精神的な満足への鍵を握っている”と述べました。

10億本植樹キャンペーンには、私たちすべてが植林した本数以上の効果を与えてくれます。

(アヒムシュタイナー国連事務次長と事務局長 国連環境計画)



◎この運動のきっかけになった
ノーベル平和賞受賞のマータイさんの言葉

「わたしたち市民ができることは小さなことです。
そのことが大きな変化を生みだします。
私の小さな行動は、木を植え続けることです。」

Wangari Maathai



UNEPよりAGFNへの感謝状

わたしたちアジア植林友好協会も2011年には国連環境計画から
当会あての感謝状を頂きました事、改めてご報告させていただきます。
わたしたちと共にこのキャンペーンに参加して頂いた個人・法人・団体
すべての皆様、たくさんのご参加ご協力ありがとうございます。



東カリマンタンバリックパンチーク植林地 ムラワルマン大学演習林樹下植林地 オランウータンの森づくりサンボジャ現場



バリ州バンリ県のバトゥール湖周辺水源涵養林再生プロジェクト植林祭参加者の皆さん

2010年12月植林祭参加者の一部 日本からの参加者と現地高校生 バリの植林地の地元の人たち

2007年から2010年までの期間に私どもアジア植林友好協会は、国連環境計画の10億本キャンペーンに「生命の森づくり」および「世界平和の森づくり」を通じて合計57,598本の植林を実行することができました。ありがとうございます。